

# 町内の大学や隣接自治体との連携による地域公共交通対策



(上空から見たJR福崎駅)

令和元年度 地域公共交通活性化シンポジウム in関西  
令和2年1月31日(金)  
兵庫県福崎町

## 【目次】

1. 本町の概況について P3
2. 地域公共交通網形成計画策定に向けて P4~8
3. 地域公共交通網形成計画及び各種施策について P9~31
4. 地域公共交通におけるクロスセクター効果の算出 P32~33
5. 公共交通施策の周知及び利用促進について P34~38
6. 担当としての思い P39

# 【1. 本町の概況について】

P3

## ■位置図



## ■福崎町の概要

- ・昭和31年5月誕生
- 「民俗学の父 柳田國男生誕の地」
- 近年は「妖怪のまち」として知られてきた

- (面積) 45.79km<sup>2</sup>
- (人口) 19,528人(H30.10)
- (世帯数) 7,199世帯(H30.10)
- (昼夜人口比率) 約112.4%(県下1位)
- (工業出荷高) 約1,150万円/人(県下1位)

## ■交通網及びアクセス

- ・中国自動車道と播但連絡道路が交差

中国自動車道で大阪から 約60分  
播但連絡道路で姫路から 約20分  
JR播但線で姫路から 約25分  
町内をコミュニティバスが運行



福崎町

(柳田國男)



(河童装置)



## 【2. 地域公共交通網形成計画策定に向けて】

P4~8

(コミュニティバス「サルビア号」の沿革等について：平成30年改編前)

★平成11年4月：無償福祉バスとして運行開始(4/14)



平成11年  
巡回バス運行式



★平成24年12月：コミュニティバス再編(有料化、郊外便デマンド化)(12/3)

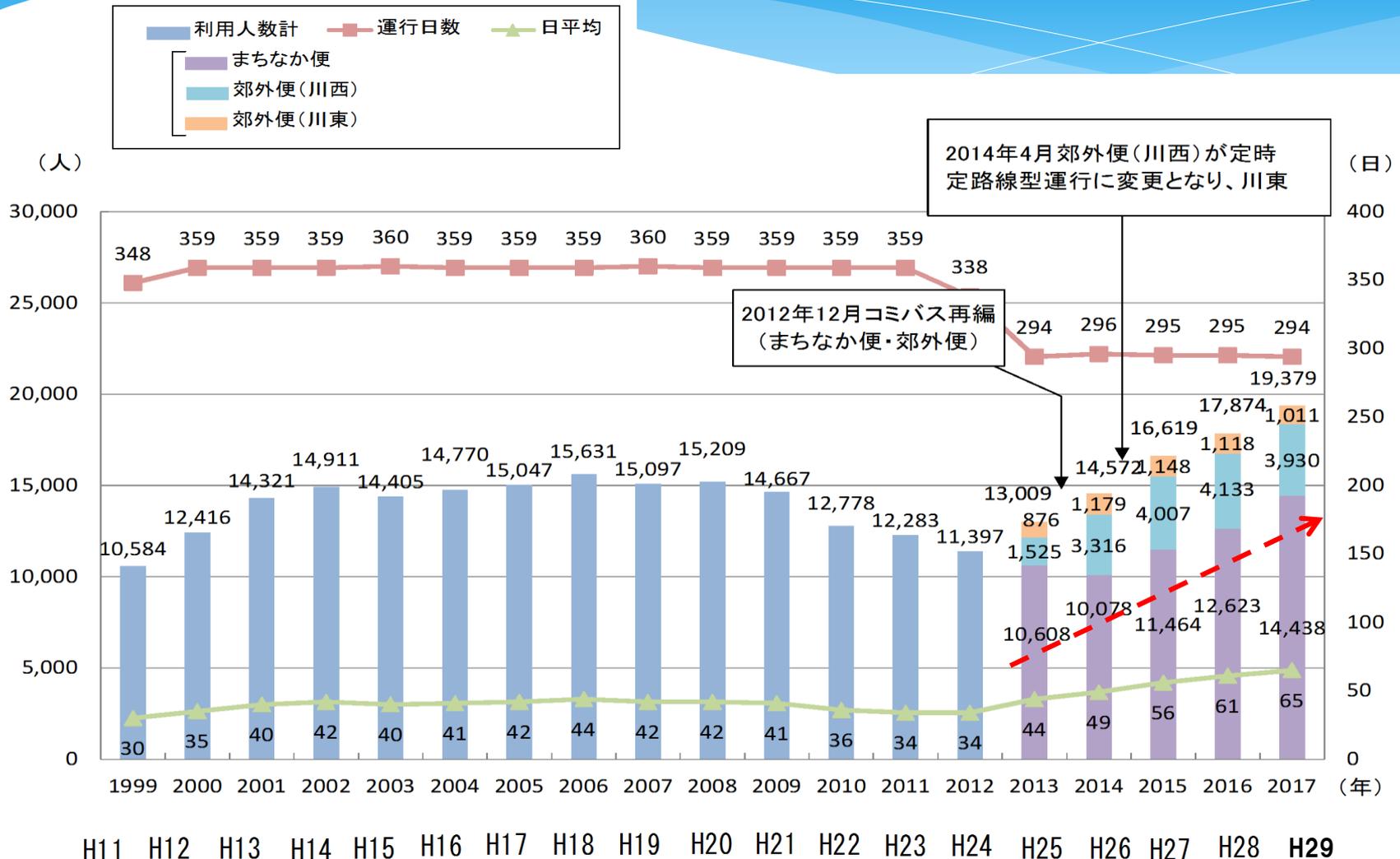


※まちなか便：12人乗り  
郊外便：8人乗り



★平成26年4月：郊外便(川西地区)を定時定路線に変更(4/1)

# 巡回バスの利用者数の推移



## 【分析】

○平成24年12月に再編後、全体の利用者数は約1.7倍になっている。  
 しかし、郊外便(川東地区:デマンド型)については、利用が伸び悩む。

# (H29:近畿運輸局による「地域連携サポートプラン」協定→提案)

(提案書より引用)

## 協定締結から提案に至るまでの間の成果（兵庫県福崎町）



平成29年 7月10日  
地域連携サポートプラン協定の締結

平成29年 9月 1日  
福崎町・運輸局による現地調査・打合せ

平成29年 9月14日  
福崎町地域公共交通活性化協議会（現状分析・課題整理）

平成29年10月 5日  
福崎町・運輸局による関係者（交通事業者・神戸医療福祉大学）との協議・調整

平成29年10月24日  
学識経験者による現地調査・助言

平成29年11月15日  
八千種小学校 交通安全教室

平成29年11月30日  
福崎町地域公共交通活性化協議会  
（地域公共交通網形成計画の方向性）

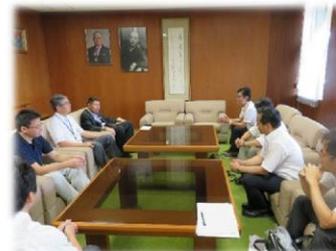
平成30年 2月13日  
福崎町・運輸局による打合せ、神戸医療福祉大学との協議・調整

平成30年 2月15日  
地域連携サポートプラン課題研究会  
（学識経験者等からの助言・意見交換）

平成30年 2月23日  
地域連携サポートプラン提案書交付



▲地域連携サポートプラン協定締結式



▲町長・副町長との意見交換



▲神姫バスとの協議



▲神戸医療福祉大学との協議



▲神崎交通との協議



▲学識経験者による助言

## 地域連携サポートプラン提案書を福崎町長に交付【平成30年2月23日(金)】

- ・H29年7月に締結した地域連携サポートプラン協定に基づき、福崎町の公共交通に係る課題について、福崎町と近畿運輸局・神戸運輸監理部が膝をつき合わせて議論。今般、その成果として、課題解決に向けた提案書を兵庫陸運部長から福崎町長に交付。

### 【提案の概要】

- ・ 運送サービスの改善による利便性の向上
- ・ 既存の交通手段の活用による移動手段の確保
- ・ 播磨圏域の中心都市「姫路」へのアクセス確保
- ・ タクシーを活用した様々な移動ニーズへの対応
- ・ 新たな需要創出に向けた取組



公共交通  
利用促進キャラクター  
のりたろ



福崎町  
マスコットキャラクター  
フクちゃん、サキちゃん

# (地域連携サポートプラン提案の抜粋)

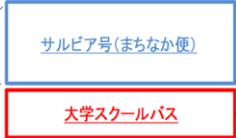
## 「サルビア号」の運行形態の改善による利便性の向上

- 「サルビア号(郊外便)」について、日常生活のリズムにあわせた利用がしやすいように、運行曜日を固定したり、運行日を拡大するなどの見直しをすることが考えられる。
- 利用者数が伸び悩んでいる「サルビア号(川東便)」について、町の主要施設が集積する市街地へのアクセス改善や、路線バス停留所から離れた地域の高齢者等の移動環境の改善を目的に、乗降可能箇所を拡大して利便性を向上させることが考えられる。
- 広域移動の利便性を確保するため、高速バス停留所(福岡IC)へサルビア号を乗り入れることが考えられる。

## 既存の交通手段の活用による移動手段の確保

- JR福岡駅・福岡町役場周辺などの市街地において生活サービスやコミュニティを持続的に確保するため、「サルビア号:まちなか便」の運行に加えて、大学所有のスクールバスを住民輸送に活用することにより、通勤・通学時間帯の移動手段を確保することが考えられる。なお、検討にあたっては、それぞれの交通機関が果たすべき役割を明確にして、相互の連携補完を図ることが重要である。

駅前(交通広場)	8:45	9:30	10:30	11:30	駅前(交通広場)	13:35	14:30	15:30	16:30
馬場(西正町)	8:48	9:33	10:33	11:33	文化センター(エリチール)	13:37	14:32	15:32	16:32
駅前(交通広場)	8:49	9:34	10:34	11:34	西田園	13:39	14:33	15:33	16:33

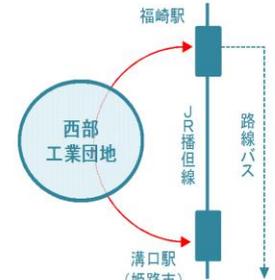


福岡IC	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10	18:20	18:30	18:40	18:50
福岡IC	18:00	18:10	18:20	18:30	18:40	18:50	19:00	19:10	19:20	19:30	19:40	19:50	20:00

スクールバスの活用 (イメージ)

## 西部工業団地周辺のアクセス確保

- 町外からの通勤者等の交通アクセスを確保するため、「溝口駅(姫路市)～西部工業団地～福岡駅」のバス交通を整備し、自家用車から公共交通への利用転換を促進することにより、交通渋滞や駐車場不足などの課題の解決に繋げることが考えられる。なお、路線等を検討するにあたっては、既存の路線バスとの役割分担に留意し、整合性を図ることが重要である。



## 市川町と連携した神崎総合病院へのアクセス確保等

- 市川町との間に共同でコミュニティバスを運行することにより、福岡町から市川町経由での神崎総合病院へのアクセスと、市川町から福岡町への買い物等アクセスを同時に提供することが考えられる。



神崎総合病院



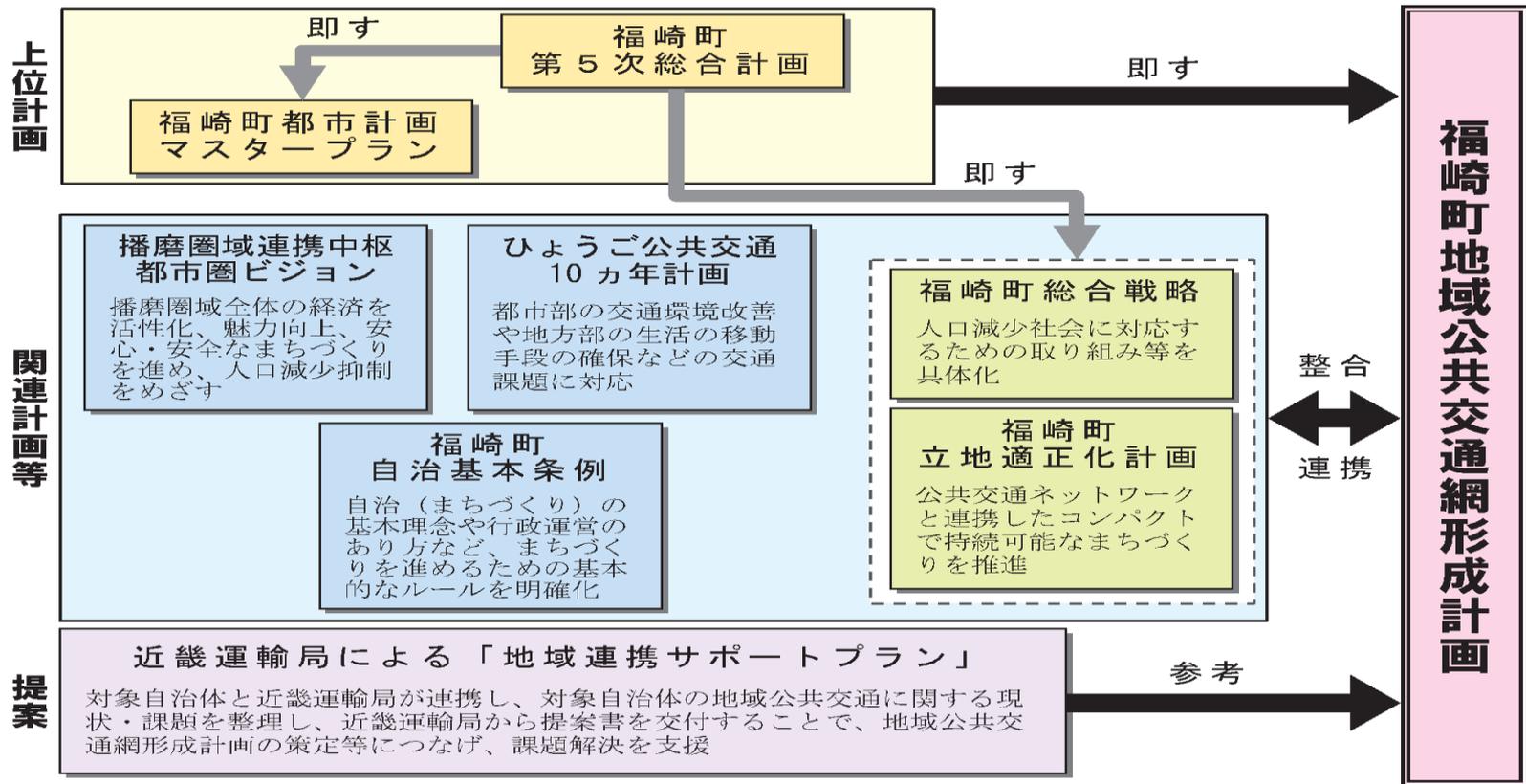
市川町コミュニティバス



※これらの提案を参考として、公共交通網形成計画を策定→平成30年度より実行。

# 【3. 地域公共交通網形成計画及び各種施策について】 P9～31

## 1.2 計画の位置付け



## 1.3 計画の区域

本計画の区域は、福崎町内全域（45.79km<sup>2</sup>）とします。

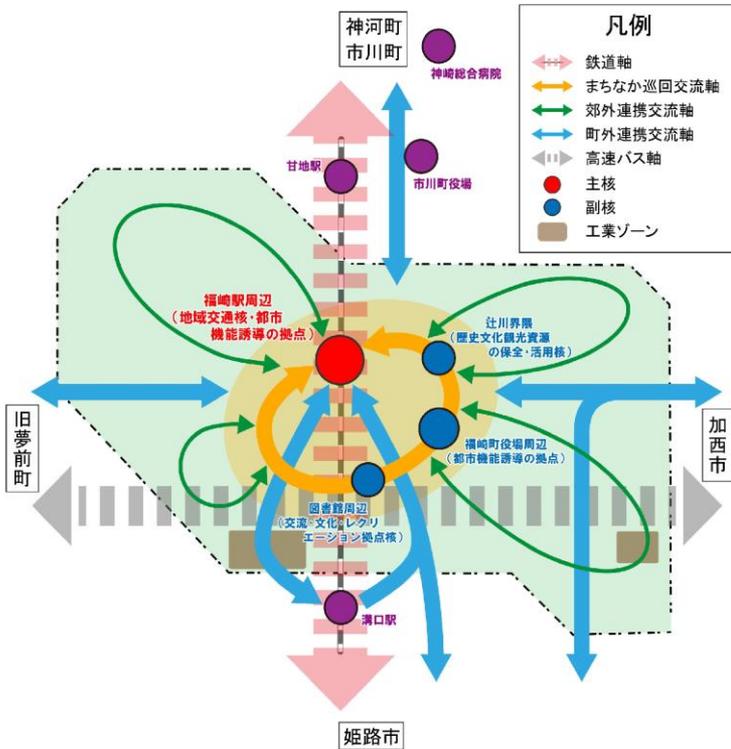
## 1.4 計画の期間

2018年度（H30）から2025年度までの8年間

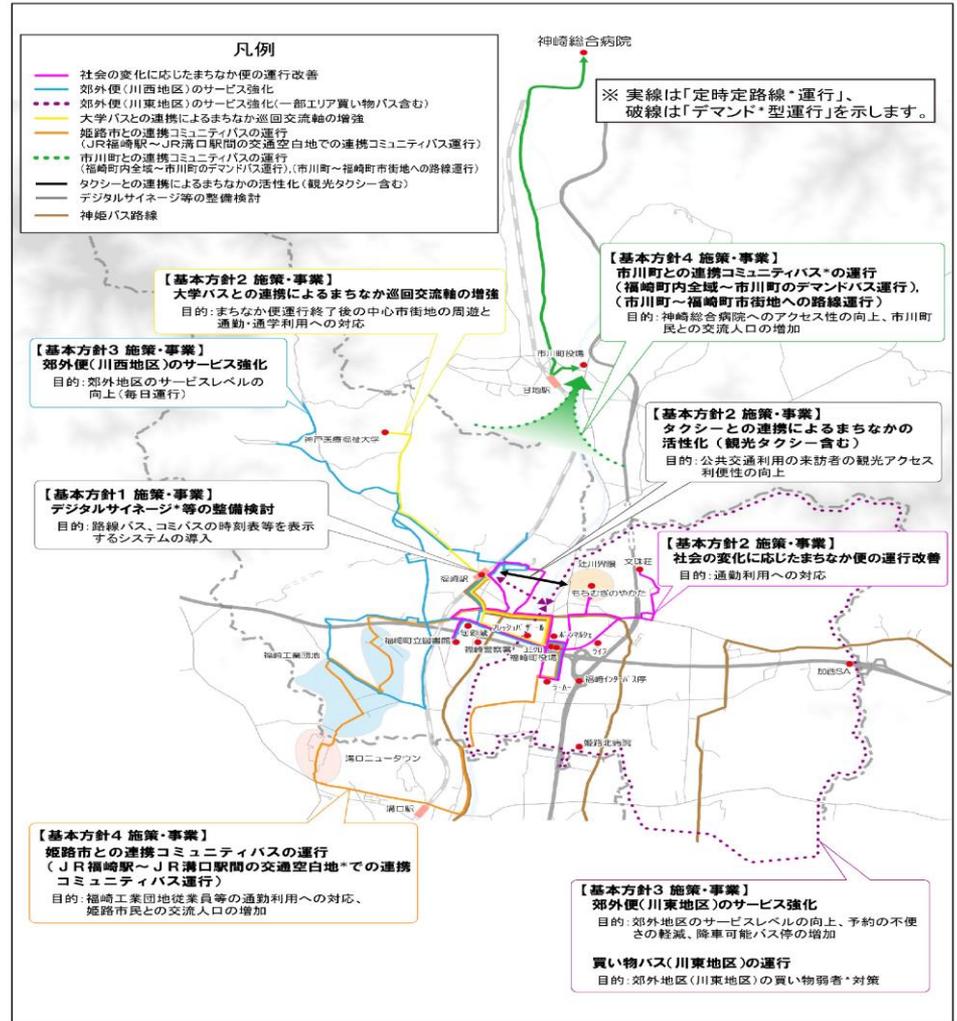
# (公共交通網形成計画の内容:抜粋)

～一人ひとりが活動しやすく  
住みよいまち 福崎～

＜ 本町が目指す公共交通網 ＞



＜ 公共交通サービス向上にかかる主要な施策・事業 ＞



# ●計画 基本方針1:「まちの玄関口」の整備

## < JR福崎駅周辺整備のコンセプト >

福崎町の  
新たな顔  
をつくる

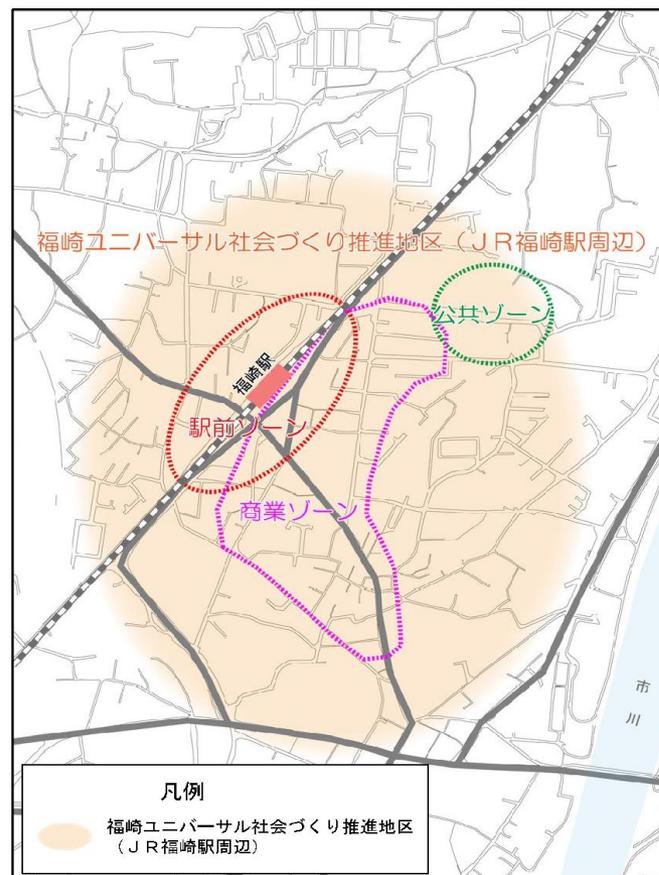
公共交通  
を快適に  
つなぐ

まちの拠点  
としての機  
能を備える

## < JR福崎駅周辺整備イメージ：第1期 >



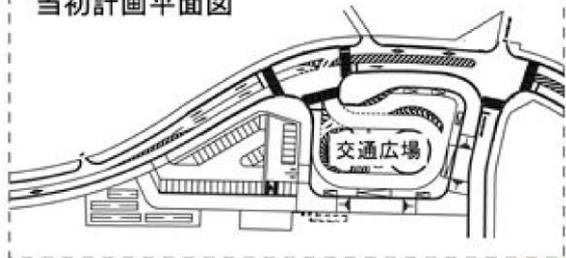
## < 福崎ユニバーサル社会づくり推進地区 >



★今後、JR福崎駅の利用促進、周辺の活性化、アクセス確保が本町の最重点課題

# ■実施 福崎駅周辺整備事業について:H26年度～R元年度

当初計画平面図



★当初、交通広場のみの整備計画を交通広場＋交流広場の整備に変更

※住民発議による都市計画変更  
(駅前に憩いの場の創出が必要)

【施設概要】



①交通広場

面積	3,500 ㎡
収容	大型バス4台、タクシー6台、一般車両10台



②交流広場

面積	3,000 ㎡
用途	多目的広場



③駅前観光交流センター (フクちゃんプラザ)

構造	鉄骨造2階建て
延床面積	318 ㎡
用途	1階：観光情報スペース、休憩・喫茶スペース、地元物産紹介・即売スペース 2階：交流スペース、イベントスペース

# (令和元年10月6日 竣工式典の様子)



(テープカットの様子)

上空から見たまち ~福崎駅前航空写真~

平成 25 年 撮影



令和元年 撮影



(平成25年と令和元年の航空写真比較)

令和元年10月7日(月) - 神戸

令和元年10月7日(月) - 読売



新設された約3千平方メートルの交流広場と観光交流センター(左奥)

福岡駅前

## 交流広場オープン

### 「ガジロウ」の水槽設置

JR福岡駅前で6日、新設の交流広場がオープンし、5年にわたった再整備

が完了した。記念式典では、広場に田筒形の水槽がお目見え。髪を揺らして漂う、気味の悪いかっぱキャラ「ガジロウ」のまわりには親子連れらが大笑した。ガジロウは、民俗学者柳田国男の生家が残る辻川山



水筒で髪を沈めるとかっぱ人形「ガジロウ」に見える。JR福岡駅前

NEXT 動画

公園(福岡市西田原)の池で15分に1回、水面に顔を出す機械仕掛けの人形、水槽「ガジロウ」は、万国博で「1600」と記したラ

## 白国神社

福岡市東区  
3500m  
024-1-1880  
10月10日

つちは同じ巨線。シユールな感じがいい」と話していた。約600平方メートルだった駅前スペースは、ロータリーと広場で計約6500平方メートルまで広がり、接続道路も拡張。同町高岡の会社員高松和樹さん(46)は「娘3人の送り迎えが便利になった。商業施設も早く誘致してにぎわいを生んでほしい」と話した。(井上太郎)

## 観光交流センター

JR福岡駅前に完成  
福岡町がJR福岡駅前を整備を進めていた観光交流センターと「交流広場」が完成し、6日、記念式典が開かれた。

観光交流センターは鉄骨2階建て(318平方メートル)に、カップパの「ガジロウ」像が池の中から現れることで人気の辻川山公園など町内の観光スポットを紹介する資料を集め、町特産のもち麦を使ったお茶やラテが楽しめるカフェや休憩スペースも設置。2階には様々な職業の人が仕事場を共有できるコワーキングスペース(有料、15日から利用可能)やテラスがある。事業



6日にオープンしたJR福岡駅前の観光交流センター(福岡町で)

費は約1億6000万円。交流広場は約3000平方メートル。イベント開催などを想定している。事業費は約2億4000万円。いずれも町が2014年度から進めているJR福岡駅前整備事業(総事業費28億6000万円)の一環。民家があった場所を買収し、県道や町道を整備。一般車の乗降スペースやタクシー・バスの乗り場がある「交通広場」(約3500平方メートル)は今年4月1日に利用が始まっている。記念式典には施工業者や地元区長ら約120人が出席。尾崎吉晴町長は式辞で「駅に新たなにぎわいをもたらし、地域に活力を呼び込むと確信している」と述べた。

# (参考：辻川界隈を中心とした文化観光まちづくり)

## ◎まちづくり、神戸新聞も参加＝福崎町と協議会―兵庫県

18/04/09 08:23 NG025

兵庫県福崎町のまちづくり推進に向け、神戸新聞社（神戸市）と空き家活用事業などを手掛ける一般社団法人ノオト（兵庫県篠山市）が7日、連携協定を結んだ。協定に合わせて同日、「福崎町文化観光まちづくり協議会」が発足した。

協定は、▽歴史的建築物活用▽地域振興▽国、自治体との連携▽情報発信▽データベース活用▽人材確保、産業振興▽文化芸術事業▽着地型観光―など9項目について連携していくことを盛り込んだ。

地域の歴史や文化に詳しく、情報発信力のある地元紙と、古民家活用で実績を持つ団体がそれぞれの強みやノウハウを提供し、「まちづくり」をテーマに連携。今後は町も交えた3者で地元活性化に向けた具体的な事業を展開する。

会見で、神戸新聞社の高土薫社長は「今まで地域資産活用協議会の一員として、力合わせの実績を積み重ねてきた。このタイミングで関係を前進させ、地域を活気づけることに参加できる」と語った。ノオトの金野幸雄代表理事は「文化と観光を幸福に融合するのがこれからの理念。かいわいの歴史的な建築物を順に開発し、新たな事業を展開することで、IターンUターンが増え、雇用も生まれる」と意欲を示した。

福崎町の橋本省三町長は「少子高齢、人口減少時代でも自治体として元気印を発信したい」と、期待を示した。（了）



古民家を活用した交流拠点で「福崎町文化観光まちづくり協議会」を立ち上げ、握手を交わす関係者ら。右から高土神戸新聞社長、橋本福崎町長ら＝7日、兵庫県福崎町西田原（中田生実撮影）

## (活用を検討する主な施設)

○県指定文化財三木家住宅

○旧辻川郵便局

○辻川観光交流センター

○交流施設「タケムラ」等



# ●計画 基本方針2:「まちなかの回遊性向上」 H30. 10. 1～実施

＜ まちなか便運行時刻表 ＞

※ 2018年（H30）3月時点

**8：00頃からの  
始発便を追加**  
↓  
**最終便を繰り上げ**

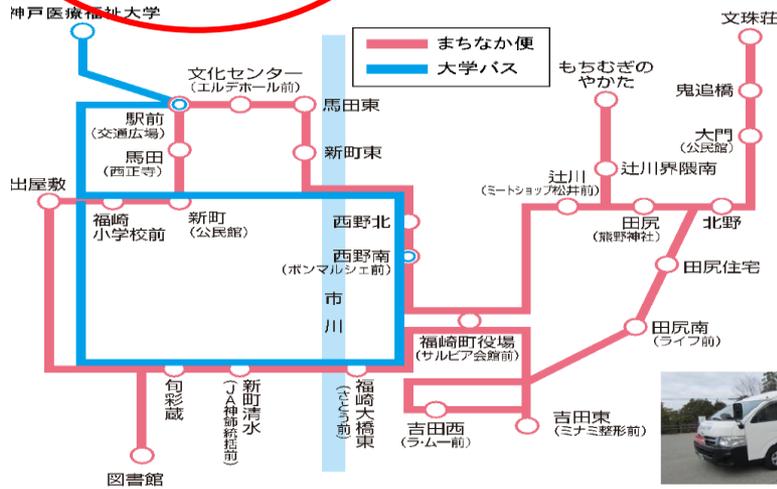


神戸医療福祉大学バス

駅前(交通広場)	8:45	9:30	10:30	11:30	駅前(交通広場)	13:35	14:30	15:30	16:30
馬田(西正寺)	8:48	9:33	10:33	11:33	文化センター(エルデホール前)	13:37	14:32	15:32	16:32
新町(公民館)	8:49	9:34	10:34	11:34	馬田東	13:38	14:33	15:33	16:33
福崎小学校前	8:49	9:34	10:34	11:34	新町東	13:40	14:35	15:35	16:35
出屋敷	8:51	9:36	10:36	11:36	西野北	13:42	14:37	15:37	16:37
西野北	9:17	10:21	11:21	12:21	出屋敷	14:22	15:22	16:22	17:22
新町東	9:19	10:23	11:23	12:23	福崎小学校前	14:24	15:24	16:24	17:24
馬田東	9:21	10:25	11:25	12:25	新町(公民館)	14:24	15:24	16:24	17:24
文化センター(エルデホール前)	9:22	10:26	11:26	12:26	馬田(西正寺)	14:25	15:25	16:25	17:25
駅前(交通広場)	9:24	10:28	11:28	12:28	駅前(交通広場)	14:28	15:28	16:28	17:28

通勤、通学時間帯の廃止に対応するため、大学バスの町内巡回バスを活用

＜ まちなか便と大学バスの運行路線図 ＞



＜ 大学バスの運行時刻表（町内巡回バスのみ） ＞

・ 平日（月～金）

時刻	大学発	交通広場	出屋敷	文化センター	大学着
7					
8					
9					
10					
12					
13					
14					
15					
16	30	40	45	*17:00	17:10
17	25	35	40	*50	18:00
18	10	20	25	*35	45
19	00	10	15	*25	35
20					
21	15	25	30	*40	50
22					

・ 土曜日

時刻	大学発	交通広場	出屋敷	文化センター	大学着
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17	18:50	00	05	*20	30
18	17:45	17:55	00	*10	20
19	00	10	15	*25	35
20	00	10	15	*25	35
21	15	25	30	*40	50
22					

※ 2018年（H30）3月時点

出典）サルビア号時刻表を参考に加筆  
神戸医療福祉大学HP



★平成29年8月31日に、市町村運営有償運送の登録に関する処理方針の一部改正実施

- 持ち込み車両の使用が認められるようになった。→神戸医療福祉大学との提携
- 交通空白地対策→コミバス運行時間終了後の交通空白時間を埋める

# ■実施 大学バス運行開始式:H30. 10. 1実施

2018 (H30) 10. 2 (火) \_神戸新聞

## 大学送迎バス 住民も活用



関係者がテープカットで祝った出発式＝  
JR福崎駅前

### コミバス運行の空白時間帯に

兵庫県福崎町は1日、同町高岡にある神戸医療福祉大の学生用送迎バスを使って、住民向けの有償運送を始めた。既存のコミュニティバス（コミバス）の空白時間帯だった午後4～9時、町役場周辺とJR福崎駅前（1・8キロ）に5便を運行する。大学の送迎バスを生かす例は全国でも珍しく、低コストで利便性向上を目指す。

（井上太郎）

同町は神姫バス（姫路市）などにコミバスの運行を委託している。福崎駅前と町役場を結ぶ主要路線は午後4時半の駅前発が最終便。市川東岸側の役場周辺に商業施設が集中する一方、福崎駅を含む西岸側に店舗が少なく、車を持たない高齢者らの足の確保が急務となっている。

昨夏、道路運送法の一部改正で、市町村は、自ら購入した車両でなくても有償運送ができるようになった。町と同大は今春に包括

連携協定を結び、協議を加速させた。

1人1000円の運賃収入は、町が同大に還元し、運行管理費に充ててもらう。

1日夕に駅前出発式があり、同大の足立泰紀地域貢献センター長は「多くの方に利用してもらい、より住みやすい町になれば」と話した。

# (国土交通省様作成資料より)

## 市町村運営有償運送における自家用自動車の持ち込み事例(兵庫県福崎町)

平成29年8月「市町村運営有償運送の登録に関する処理方針」改正により、市町村運営有償運送において、市町村以外が保有する自家用自動車を持ち込むことが可能となった。

兵庫県福崎町において、大学保有のバスという地域資源を有効活用し、町が車両購入費を負担することなくコミュニティバスの利便性向上を図った。

### 経緯

- H24.12 コミュニティバス(サルビア号まちなか便)の運行開始(4条許可)
- H29.8 「市町村運営有償運送の登録に関する処理方針」改正(持ち込み車両の可能化)
- H29.10 福崎町まちづくり課、近畿運輸局交通企画課、兵庫陸運部が神戸医療福祉大学と、大学保有の自家用バス車両の活用について協議し、関係者と調整
- H30.2 近畿運輸局から福崎町へ、地域連携サポートプラン提案書を交付
- H30.3 神戸医療福祉大学と福崎町との包括連携協力に関する協定締結
- H30.10 神戸医療福祉大学の車両を活用した系統の運行開始



### サルビア号まちなか便の概要

- 【運行事業者】神姫バス株【登録台数】1両
  - 【運行開始年月日】平成24年12月【路線数】1路線
  - 【運送の対価】1乗車100円
- ⇒平成30年10月1日より、学生送迎に特化していた大学バスが、市町村有償運送として運行することにより、夕方以降の便を補完。(1乗車100円、神戸医療福祉大学が運行)



### 市町村運営有償運送における大学バスの活用について

- 【概要】
  - まちなか便の始発時刻が8:45、終着時刻が17:28となっており、通勤・通学での利用がしづらい状況。一方で、神戸医療福祉大学の通学用バスがJR福崎駅と西野南(ボンマルシェ前)間を、夕方から夜にかけて運行している。
  - 通達改正により市町村運営有償運送において車両の持ち込みが可能となった制度改正を活用して、夕方以降は大学バスを活用した市町村運営有償運送の系統として運行するとともに、まちなか便の始発便のダイヤを早め、通勤、通学に対応したバス運行に再編。
  - 地域連携サポートプランの提案や、連携協定を背景に、自治体、大学、運輸局等が協働して、地域に必要な取り組みを進めた。

#### 神戸医療福祉大学と福崎町との包括連携協定

H30.3 包括連携協定を締結

(包括連携協定) 両者がこれまで培ってきた連携事業の成果を活かし、地域の課題に適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展をより一層進める (協定書)



#### 近畿運輸局と福崎町との地域連携サポートプラン

H29.7 地域連携サポートプラン協定を締結  
H30.2 近畿運輸局から福崎町に提案書を交付  
(地域連携サポートプラン) 近畿運輸局と対象自治体との間で協定を結び、地域公共交通に関する現状把握、意見交換を踏まえた上で、自治体に提案書を交付し、地域の課題解決を支援するもの

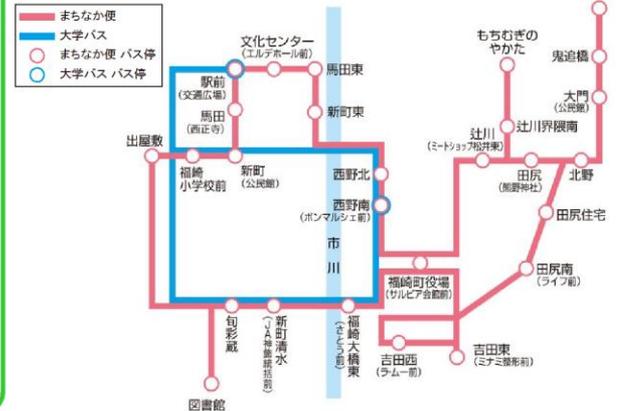


- 学生送迎に特化した大学バスを市町村有償として運行し、夕方以降の移動手段を確保
- まちなか便の始発便を早め、利便性を向上

まちなか便 (駅前発)	まちなか便 (駅前発)	大学バス (駅前発)
	7:31(※)	
	7:57	
8:45	8:45	
9:30	9:30	
10:30	10:30	
11:30	11:30	
13:35	13:35	
14:30	14:30	
15:30	15:30	
16:30	16:30	16:40
		17:35
		18:20
		19:10
		21:25

※鬼追橋→駅前

### < まちなか便と大学バスの運行路線図 >



●計画 基本方針4:「町外連携による交流人口増」 H30.10.2～ 火・木曜実施

【市川町連携コミバス+買い物バス運行】 → ★交流人口増+買い物弱者対策

＜市川町との連携コミュニティバス運行の流れ＞

■市川町コミュニティバス接続



市川町コミュニティバス

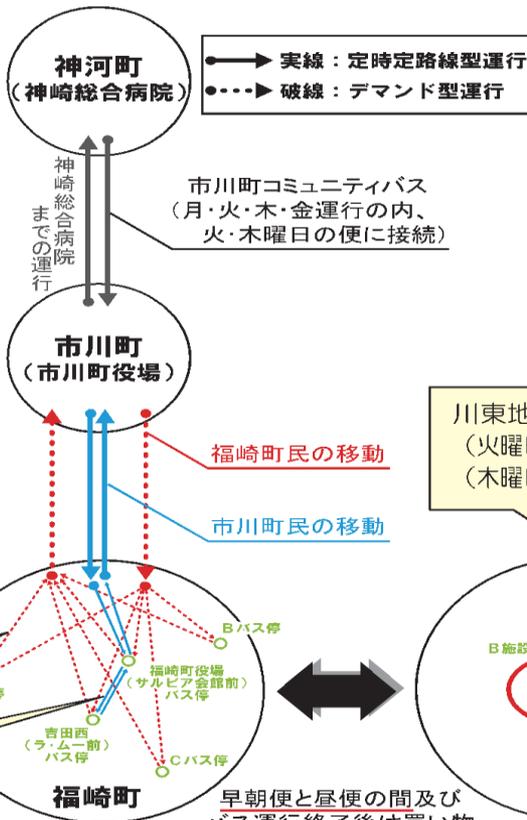
市川町連携コミュニティバス運行の流れ

早朝便	1便目:【7時頃】デマンドで福崎町民を送迎 (町内全域バス停より)
	2便目:【8時頃～8時半頃】市川町役場から折り返し便で市川町民を迎え入れ(福崎町役場[乗継箇所]、吉田西[ラムー前])
買い物バスとして運用(8時半頃～11時半頃)	
昼便	3便目:【11時半頃】吉田西(ラムー前)、福崎町役場から市川町民を送迎
	4便目:【12時頃】市川町役場から福崎町民を町内のバス停に送迎
買い物バスとして運用(14時半頃～17時半頃)	

※ 1往復を2便と計上

福崎町民はデマンドによる運行(町内全域)

市川町民は定時定路線による移動



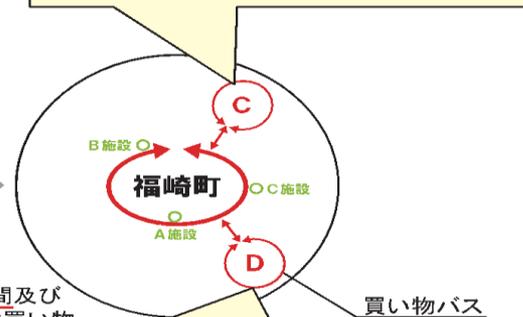
■市川町コミュニティバス運行時刻表(火曜日 抜粋)

停留所	午前	
	行き	帰り
市川町役場	8:05	12:02
甘地駅	8:07	11:58
神崎総合病院	8:32	11:35

■市川町コミュニティバス運行時刻表(木曜日 抜粋)

停留所	午前	
	行き	帰り
市川町役場	8:05	12:08
甘地駅	8:07	12:04
神崎総合病院	8:39	11:35

川東地区の一部で運行(定時定路線)  
(火曜日→午前:川東C、午後:川東D)  
(木曜日→午前:川東D、午後:川東C)



8時半頃～11時半頃、14時半頃～17時半頃に巡回運行

# ■ 実施 市川町連携コミバス運行開始式：H30. 10. 2実施

2018 (H30) 10. 3(水) 神戸新聞

## コミバス 町境越え連携

福崎町と市川町は2日、それぞれ町内を走らせているコミュニティバス（コミバス）を連絡させ、神河町を含む神崎郡3町を往来しやすくする取り組みを始めた。福崎町内と市川町役場を結ぶ「連携コミバス」（片道5.5\*）の路線を新設し、市川町のコミバスに連絡する。自治体間でコミバスをつなぐのは県内初。同日朝、連携の中間点となる市川町役場に首長らが集まり、出発式を開いた。（井上太郎）

### 福崎と市川結ぶ新路線スタート



運行を始めた連携コミバス(左)と、市川町のコミバスが並んだ出発式＝市川町役場

福崎町からの乗客は市川町のコミバスに乗り換え、「天然かきかた温泉せせらぎの湯」（市川町上牛尾）や、北隣の神河町にある公立神崎総合病院に行けるよ

うになる。市川町からの乗客は、福崎町役場周辺のスーパーやディスカウントス

トアなどに行ける。車両は福崎町のコミバス「サルビア号」（乗車定員3町）の往来便利に

### 福崎町・市川町連携コミバス

祝日、年末年始（12/31～1/3）は運休します

#### 毎週 火曜日 運行

停留所	行き①	帰り①	行き②	帰り②	行き③
市川町役場	8:08	11:54	12:05	14:59	15:13
辻川（ミートショップ松井東）	8:17	11:45	12:14	14:50	15:22
田尻南（ライフ前）	8:20	11:42	12:17	14:47	15:25
福崎町役場（サルビア会館前）	8:23	11:39	12:20	14:44	15:28
吉田西（ラ・ムー前）	8:26	11:35	12:23	14:40	15:31

#### 毎週 木曜日 運行

停留所	行き①	帰り①	行き②	帰り②	行き③
市川町役場	8:08	11:59	12:11	14:59	15:13
辻川（ミートショップ松井東）	8:17	11:50	12:20	14:50	15:22
田尻南（ライフ前）	8:20	11:47	12:23	14:47	15:25
福崎町役場（サルビア会館前）	8:23	11:44	12:26	14:44	15:28
吉田西（ラ・ムー前）	8:26	11:40	12:29	14:40	15:31

#### 福崎町の各停留所周辺の主な施設



フクちゃん、サキちゃんが、連携バスに乗ってひまりんを案内しました。



辻川山公園のカッパを見たよ！！



“河童のさんぽ道”で休憩しました



▲辻川（ミートショップ松井東） 徒歩 徒歩8分



▲辻川（ミートショップ松井東） 徒歩 徒歩6分



▲福崎町役場前（パン屋さんでー反もめん）に出会ったよ



▲福崎町役場（サルビア会館前） 徒歩 徒歩1分



▲吉田西（ラ・ムー前） 徒歩 徒歩1分

フクちゃん、サキちゃん「ありがとう」

市川町コミュニティバスなどを利用して、市川町役場で乗り換えることで、福崎町のいろいろな施設へ行くことができます。この連携コミバスを皆さま方に、有効にご利用いただくため、市川町役場～福崎間を1往復できる無料乗車券を配布します。ご利用の際は、下の部分を切り取ってご利用ください。

きりとり線

**福崎町・市川町連携コミバス**

市川町役場 ↔ 福崎町

**無料乗車券**

有効期限 平成31年2月28日

きりとり線

**福崎町・市川町連携コミバス**

市川町役場 ↔ 福崎町

**無料乗車券**

有効期限 平成31年2月28日

9人を使い、神崎交通（福崎町福田）が運行を担う。毎週火曜と木曜、午前7時台～午後3時台の間に計3往復する。福崎町からの始発便は、前日までに予約した乗客の最寄りのバス停を回り、市川町役場に向かう予約運行型になる。2日午前7時40分ごろ、市川町役場の停留所に連携コミバスが到着。かつばのマスケットキャラクター「フクちゃん」「サキちゃん」と静かに降車した福崎町の橋本富三町長は「両町間の交流人口を増やしたい」と話し、他市町への連携拡大にも意欲を示した。市川町の岩見武三町長も「いろいろな面で連携しながら人口減少対策ができれば」と期待した。早速、福崎町へ折り返す便に乗った市川町東川辺の男性（80）は「2年ほど前に運転免許を返納したとい、買い物の選択肢が増える。月2回以上は使う」と喜んでい

# ★市川町連携コミュニティバス(福崎町→市川町へ)

## 運行日

■火・木曜日

(1便目は前日午後3時迄に電話予約が必要)

※福崎町内の全ての地区を対象とします。

目的地：神崎総合病院・せせらぎの湯



※町内どこからでも利用可能

一番近いバス停まで送迎  
(バス停箇所数 約100箇所)

市川町役場で乗換



## 【市川町コミバス時刻表】

### 市川町コミュニティバス

停留所	行き	帰り	行き	帰り
浅野	7:45	12:31	14:43	17:06
法雲寺	7:47	12:24	14:47	16:59
小畑スクールバス乗降前	7:47	12:22	14:47	16:57
九鬼北橋	7:48	12:21	14:48	16:56
南小畑聖台駅前	7:49	12:20	14:49	16:55
南小畑養老館前	7:50	12:19	14:50	16:54
御徳駅前	7:51	12:18	14:51	16:53
御舟坂下	7:53	12:17	14:53	16:52
東川辺北(奥持池南)	7:55	12:15	14:55	16:50
東川辺コメン	7:56	12:14	14:56	16:49
文化センター	7:59	12:12	14:59	16:47
西川辺	8:00	12:10	15:00	16:45
市川町役場	8:05	12:08	15:05	16:43
甘地駅	8:07	12:04	15:07	16:39
坂戸公民館下	8:09	12:02	15:09	16:37
奥集落養老センター	8:13	11:58	15:13	16:33
甘地八幡神社入口	8:15	11:55	15:15	16:30
谷中所橋	8:19	11:52	15:19	16:27
谷公民館	8:21	11:50	15:21	16:25
神崎西	8:23	11:48	15:23	16:23
神崎公民館	8:24	11:47	15:24	16:22
鎌原	8:26	11:45	15:26	16:20
巖形	8:27	11:44	15:27	16:19
巖形北	8:28	11:43	15:28	16:18
初瀬野	8:30	11:41	15:30	16:16
神崎総合病院	8:39	11:35	15:39	16:10

片道 利用料金 100円

### 浅野～神崎総合病院【路線】

福崎町・市川町連携コミュニティバスを利用して福崎町へ行くことができます。

**月曜日 木曜日 運行**

毎週

年末年始(12/31-1/3)は運休します。



市川町コミュニティバス

### 福崎町・市川町連携コミュニティバス

市川町コミュニティバスを利用して、市川町役場で乗り換えることで、福崎町の商業施設などに行くことができます。

片道 利用料金 100円

※市川町コミュニティバスと別途利用料100円が必要となります。

**毎週 木曜日 運行**

祝日、年末年始(12/31-1/3)は運休します。

※1 市川町で発行した無料乗車券はご利用できません。

※2 1便目で福崎町に行った場合、帰りの市川町役場行きはありありません。



福崎町・市川町連携コミュニティバス



バス路線図

- 浅野路線
- 福崎・市川路線

22

# 【福崎町・市川町合同「バス旅」体験について 実施日：令和元年11月26日】

## ふくさき・いちかわ「バス旅」体験

福崎町、市川町の子どもたちに、公共交通の利用体験をしてもらうことで、公共交通の利用促進などを図る。第1回目として、下記の内容で実施予定。

- 日 時 令和元年11月26日(火)
- 参加者 福崎町・・・高岡小学校5・6年生 19名  
市川町・・・いちかわ西こども園5歳児 24名



福崎町・市川町連携コミュニティバス



市川町コミュニティバス

### ■福崎町から市川町へ

時刻	内容	
11:40	高岡小学校 発	マイクロバス(神崎交通)
12:10	せせらぎの湯 着	
	昼食	ふところ館で食事
12:45	思い出博物館見学	
13:20	せせらぎの湯 発	マイクロバス(神崎交通)
13:30	にゆうにゆう工房 着	
	※バター作り体験	
14:30	移動	徒歩
14:54	畑中バス停 発	市川町コミュニティバス乗車体験
15:10	市川町役場 着	※乗り換え
15:13	市川町役場 発	福崎町・市川町連携コミュニティバス乗車体験
15:26	福崎町役場 着	※乗り換え
15:33	福崎町役場 発	福崎町巡回バス(川西便)乗車体験
16:03	板坂新田南 着	
16:10	下校	

### ■市川町から福崎町へ

時刻	内容	
11:45	いちかわ西こども園 出発	徒歩で保健福祉センターへ移動
11:56	保健福祉センター 発	市川町コミュニティバス乗車体験
12:02	市川町役場 着	※乗り換え
12:05	市川町役場 発	福崎町・市川町連携コミュニティバス乗車体験
12:14	辻川観光交流センター前 着	
	移動	徒歩
12:25	辻川山公園 着	
	※辻川山公園を散策	昼食(お弁当)
14:35	移動	徒歩
14:50	辻川観光交流センター前 発	福崎町・市川町連携コミュニティバス乗車体験
14:59	市川町役場 着	※乗り換え
15:10	市川町役場 発	市川町コミュニティバス乗車体験
15:14	保健福祉センター 着	徒歩でいちかわ西こども園へ移動
15:25	いちかわ西こども園 到着	
16:30	お迎え	

※福崎町・市川町連携コミュニティバスは、通常運行車両と臨時車両で対応する。  
 ※15時頃の市川町役場での、連携時に、ひまりんが出迎える。  
 ※役場での連携時に、神戸新聞などメディア取材予定。

# 【新聞記事及び広報1月号での紹介】

(神戸新聞)

(広報1月号)

令和元年11月27日(水)－神戸

福崎町と市川町が連絡させているコミュニティバスの乗車体験が26日にあり、福崎町からは高岡小学校、市川町からはいちかわ西(子ども園)の子どもたち計約50人が互いに隣町を観光

## コミバスに乗って隣町へ

### 福崎、市川町 子ども乗車体験



市川町のコミバスを利用した高岡小の児童たち＝同町役場

福崎町と市川町が連絡させているコミュニティバスの乗車体験が26日にあり、福崎町からは高岡小学校、市川町からはいちかわ西(子ども園)の子どもたち計約50人が互いに隣町を観光

した後、コミバスを乗り継いで帰ってきた。福崎町内と市川町役場を結ぶ「連携コミバス」は昨年10月に運行を開始。同町役場で両町のコミバスに乗り換えられる。

利用促進の一環で、子ども向けの乗車体験を初めて企画、高岡小5、6年生約20人は、観光バスで「天然かさがた温泉せせらぎの湯(市川町上左尾)」と「アイスクリーム店」に「ゆうにゆう工房」(同町下瀬加)を巡った後、最寄りのバス停から市川町のコミバスに乗り、福崎町のコミバスに乗り継ぎ、帰路に就いた。

6年生の鮫島翔(とら)君は「段差がなくて乗りやすかった。また、市川町のバスに乗って温泉に行きたい」と話した。(井上太郎)

## 福崎町・市川町合同 バス旅体験

11月26日に、高岡小学校の5・6年生が校外学習でバスの旅を体験しました。子どもたちにバスに親んでもらうための企画で、市川町と合同で実施し、神崎交通株式会社、かさがた温泉せせらぎの湯(市川町)、にゆうにゆう工房(市川町)に協力をいただきました。子どもたちは市川町で施設見学をした後、最寄りの畑中バス停から3本のバスを乗り継ぎ、高岡小学校に戻りました。



今回のバス旅はとても楽しかったようで、「土曜日に図書館まで乗ってみたい」という声も聞かれました。

持続可能な公共交通とするためには、子どものころから公共交通に親しむことが大切です。今後も交通事業者と協力しながら、いろいろな企画で利用者を増やす取り組みを行います。(まちづくり課・健康福祉課)

5 広報ふくさき 2020年1月号



# (参考) 一日の流れについて:市川町連携コミバス+買い物バス

【町内全域デマンド→市川町連携コミバス→郊外便:川東地区買い物バス:1日の流れについて】

(火曜日) 市川連携:国道312号+買い物バス(八千種コース)

時間	項目	時間	項目
6:50	出庫	13:30	
7:00		13:40	
7:10	福崎町内全域 +西田中周辺→ 市川町役場へ	13:50	休憩 (神崎交通 事務所) 約70分
7:20	デマンド運行 (7:00頃発→ 7:55~8:00着)	14:00	
7:30		14:10	
7:40		14:20	
7:50	→8:05神崎病院行へ	14:30	
8:00	市川町役場(8:08発)→ 福崎町役場経由(8:23) ラ・ム一行(8:26着) ※運行時間:約18分	14:40	ラ・ム一前(14:45発)→ 市川町役場(15:01着) ※運行時間:約16分
8:10		14:50	→15:10神崎病院行へ
8:20		15:00	休憩(市川町役場)
8:30	ラ・ム一前(8:35発)→ ●買い物バス (八千種方面)	15:10	市川町役場(15:13発)→ ラ・ム一行(15:29着) ※運行時間:約16分
8:40		15:20	
8:50	ラ・ム一行(9:13着) ※運行時間:約38分	15:30	
9:00		15:40	ラ・ム一前(15:40発)→ ●買い物バス (八千種方面)
9:10		15:50	
9:20	ラ・ム一前(9:20発)→ ●買い物バス (八千種方面)	16:00	ラ・ム一行(16:26着) ※運行時間:約46分
9:30		16:10	
9:40	ラ・ム一行(9:58着) ※運行時間:約38分	16:20	
9:50		16:30	
10:00		16:40	帰庫
10:10		16:50	
10:20	休憩 (神崎交通事務 所)約40分	17:00	片付け等
10:30		17:10	
10:40		17:20	
10:50	役場前(10:45発)→ ●買い物バス (八千種方面)		
11:00			
11:10	ラ・ム一前行(11:31着) ※運行時間:約46分		
11:20			
11:30			
11:40	ラ・ム一前(11:40発)→ 市川町役場行(11:56着) ※運行時間:約16分		
11:50	→12:02河内口行へ		
12:00			休憩(市川町役場)
12:10	市川町役場(12:06発)→ ラ・ム一前(12:22着) ※運行時間:約16分		
12:20			
12:30			
12:40	福崎町内役場→ 町内全域デマンド (13:30頃まで) ※約70分		
12:50			
13:00			
13:10			
13:20			

(木曜日) 市川連携:ひまわりホール方面+買い物バス(大貫コース)

時間	項目	時間	項目
6:50	出庫	13:30	
7:00		13:40	
7:10	福崎町内全域→ 市川町役場へ	13:50	休憩 (神崎交通 事務所)
7:20	デマンド運行 (7:00頃発→ 7:55~8:00着)	14:00	
7:30		14:10	
7:40		14:20	
7:50	→8:05神崎病院行へ	14:30	
8:00	市川町役場(8:08発)→ 福崎町役場経由(8:24) ラ・ム一行(8:27着) ※運行時間:約19分	14:40	ラ・ム一前(14:40発)→ 市川町役場(14:59着) ※運行時間:約19分
8:10		14:50	→15:10神崎病院行へ
8:20		15:00	休憩(市川町役場)
8:30		15:10	市川町役場(15:13発)→ラ・ ム一行(15:32着) ※運行時間:約25分
8:40	ラ・ム一前(8:40発)→ ★買い物バス (大貫方面)	15:20	
8:50		15:30	
9:00	ラ・ム一前(9:06着) ※運行時間:約36分	15:40	ラ・ム一前(15:40発)→ ★買い物バス (大貫方面)
9:10		15:50	
9:20	ラ・ム一前(9:15発)→ ★買い物バス (大貫方面)	16:00	ラ・ム一行(16:14着) ※運行時間:約34分
9:30		16:10	
9:40	ラ・ム一行(9:41着)	16:20	
9:50		16:30	帰庫
10:00		16:40	片付け等
10:10	休憩 (神崎交通 事務所) 約70分	16:50	
10:20		17:00	
10:30		17:10	
10:40		17:20	
10:50	役場前(10:55発)→ ★買い物バス (大貫方面)		
11:00			
11:10	ラ・ム一前行(11:29着) ※運行時間:約36分		
11:20			
11:30			
11:40	ラ・ム一前(11:40発)→ 市川町役場行(11:59着) ※運行時間:約19分		
11:50	→12:08浅野行へ		
12:00			休憩(市川町役場)
12:10	市川町役場(12:11発)→ ラ・ム一前(12:30着) ※運行時間:約19分		
12:20			
12:30			
12:40	福崎町内役場→ 町内全域デマンド (13:30頃まで) ※約70分		
12:50			
13:00			
13:10			
13:20			

●計画 基本方針4:「町外連携による交流人口増」姫路市連携分 H31. 10～目標

【姫路市連携分】 ※工業団地へのアクセス確保・姫路市との交流人口増

＜ 姫路市との連携コミュニティバス運行の流れ ＞

7 : 30～8 : 30 頃 (朝ピーク時)  
18 : 00～20 : 30 頃 (夕ピーク時)

**ピストン運行(往復運行)**

J R 福崎駅⇔福崎工業団地⇔  
溝口ニュータウン⇔J R 溝口駅



8 : 30～18 : 00 頃

**市町間連携運行+**  
**既存サービスの強化**

J R 福崎駅→福崎工業団地→溝口ニュータウン  
↑ ↓  
福崎町役場←商業施設・医療施設など←J R 溝口駅



# ■実施 福崎町・姫路市連携コミュニティバス運行社会実験

PRESS RELEASE

TOYOTA  
mobility  
FOUNDATION

2018年10月30日

## トヨタ・モビリティ基金、 「地域に合った移動の仕組み作り」に向けた 活動助成金に関する公募を開始

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(Toyota Mobility Foundatbn。以下、「TMF」)は、「地域に合った移動の仕組み作り」に取り組む日本国内の地方公共団体やNPO等を支援する助成金プログラムを設立し、公募を開始します。

TMFは2016年より、過疎化による公共交通の縮小や高齢化によって発生した移動課題の解決のための新たな仕組みづくりを行うプロジェクトや、地域に合った移動の仕組みの作り方や全国の好事例を紹介するガイドブック発行などを行ってきました。

上記活動を通じて、持続可能な移動の仕組み作りには、情報技術の活用や、地域の様々な分野(交通、福祉、教育、医療、観光等)で活動する多様なプレイヤー(行政、市民、公共交通事業者をはじめとした企業、NPOなど)の連携が重要であることを学びました。そこで、この学びを活用し、イノベティブな方法で地域に合った移動の仕組み作りに取り組む地方公共団体、NPO等の市民団体、民間企業、各種法人の活動を支援する助成プログラムを設立しました。

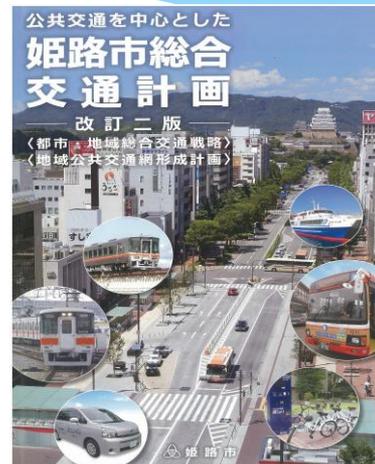
また本助成プログラムを通じて得られる各地の事例や学びを「地域に合った移動の仕組み」Webサイトで紹介し、同様の活動を行う方々にとって情報共有の場を提供することを目指しています。

### 公募概要

①応募資格	「地域に合った移動の仕組み作り」に取り組む地方公共団体、NPO等の市民団体、民間企業、各種法人(個人は対象になりません) ※地方公共団体以外に応募の際は、活動地域を管轄する地方公共団体の確認が必要
②助成金・件数	最大3000万円/件、総額10億円 件数は未定(応募案件金額と総額の範囲で調整のため)
③助成期間	1~2年
④対象となる事業	地域の移動課題の解決を目指す活動(以下の内容を含むことが前提) (1)複数の分野の多様なプレイヤーが連携するための体制を形成する (2)対象地域の市民と移動課題を共有する機会を用意する (3)対象地域において車両を用いた運行を行う (4)本助成の明確な達成目標を持ち、達成状況の確認を行う (5)本助成期間終了後の維持継続案がある、もしくは維持継続に向けた検討を行う
⑤選考基準	以下の観点を踏まえ、総合的に判断 1. 住民の意向に合致した、地域の移動課題の解決に貢献する活動である 2. 情報技術の活用や、新しい発想や先駆的な概念やスキームを取り入れている 3. 全国の他の地域や団体に波及し、モデルとなりうる 4. 「④対象となる事業」で示した5つの内容を含む活動である

## (トヨタ・モビリティ基金申し込み背景)

### ●姫路市交通空白地・不便地図(姫路市資料)



○本町においては、西部工業団地が交通空白地朝夕の一定の利用は見込めるが、昼間の利用は厳しい。

○姫路市においては、香寺地域の交通空白地の解消が図られる。

○現時点では、双方の市町において予算措置が難しかった。

# 【トヨタ・モビリティ基金を活用した市町間連携による地域公共交通社会実験の実施 R元～2】

(申請団体) 実施者：福崎町  
連携団体：姫路市、溝口ニュータウン自治会、  
工業団地協議会、神崎郡自立支援協議会

(事業名) 福崎町・姫路市連携コミュニティバス  
【ふくひめ号】運行社会実験

(事業期間) 2019. 4～2021. 3

## (実施概要)

連携コミュニティバスを活用して、福崎町及び姫路市の公共交通空白地域の解消及びJR播但線の利用促進や企業の雇用確保、障がい者就業支援といった多様な分野が連携することで、地域のニーズに合った地域交通を形成し、事業継続性を高める。

- (1) 市町間連携コミュニティバスの運行社会実験の実施 (コース)
- (2) JR播但線の福崎駅及び溝口駅を繋ぐ二次交通の確保
- (3) 障がい者就業支援モデルの確立

## (運行の考え方)

運行事業者：福崎町で選定

運賃：1乗車200円(社会実験期間中)

本格運行：社会実験の結果を検証後、運行継続の可能性等を見極める。



(社会実験期間) 2019. 10～2021. 3

(使用車両)トヨタ・ハイエース1台(14人乗り:運転手込)

計12便の運行を予定

- A便(経路) JR福崎駅～工業団地経由～JR溝口駅(播但線) 計3便  
B便(経路) JR溝口駅～工業団地経由～JR溝口駅(播但線) 計2便  
C便(経路) JR溝口駅～工業団地経由～JR福崎駅(播但線) 計3便  
D便(経路) 福崎町文化センター～香寺・福崎経由～福崎町文化センター 4便

## (運行内容)

月曜日から土曜日(日曜・祝日は運休)

※その他運行日は福崎町巡回バスと同様

# 【運行ルートイメージ A～C便：通勤対応 D便：市町間連携便】

[A便：福崎駅発～工業団地経由～溝口駅行]

1. 8. 11便目



[C便：溝口駅→工業団地経由→文化センター行]

3. 10. 12便目



[B便：溝口駅～工業団地経由～溝口駅行]

2. 9便目



[D便：文化センター発～香寺・福崎経由～文化センター行]

4. 5. 6. 7便目



# ■実施 福崎町・姫路市連携コミバス(ふくひめ号)出発式 R1. 10. 1

(新聞記事等)

## 令和元年10月2日(水)－神戸

福崎町と姫路市にまたがるコミュニティバス「ふくひめ号」が1日に運行を始めた。写真。2021年3月末までの社会実験。JR福崎駅と福崎工業団地、溝口駅(姫路市香寺町)をつなぎ、通勤と買い物のアクセスを高める。  
14人乗りのワンボックスタイプで、朝夕は福崎駅、福崎工業団地、溝口駅間を往復。日中は福崎町の中心地を経由し、溝口駅近くのニュータウンなどからの買い物需要にも応える。日曜祝日を除き1日計12便で、料金は200円。

都市交通問題の解消を図る「トヨタ・モビリティ基金」の助成対象。福崎駅前であった出発式では、同基金の選考委員でグローカル



福崎町・姫路市連携コミバス  
「ふくひめ号」運行開始  
出発式

(井上太郎)

## 令和元年10月2日(水)－読売

### 福崎の工業団地ぐるり コミュニティバス運行



「ふくひめ号」に乗り込む乗客ら(福崎町で)

福崎町の工業団地や姫路市香寺町のニュータウンなどを巡る「コミュニティバス」が1日から始まり、JR福崎駅前で行われた。

JRの駅や路線バスのコ  
1スから離れた地域に住む  
高齢者の移動手段や、工業  
団地への通勤手段を確保し  
ようと、福崎町や姫路市な  
どが社会実験として企画し  
た。財源には、一般財団法  
人トヨタ・モビリティ基金  
からの助成金約2700万  
円を活用する。  
バスは、14人乗りのワ  
ン車を使用。1日12便で、  
JR福崎駅や溝口駅、福崎  
工業団地、溝口ニュータ  
ウなどを結ぶ「通勤便」(8  
便)と、福崎町文化センタ  
ー(エルテホール)や溝口  
ニュータウン、福崎町役場  
などを結ぶ「連携便」(4  
便)がある。  
乗車料金は1回200  
円。2021年3月末まで  
の運行とし、利用者が多  
ければ継続する。  
福崎工業団地の印刷会  
社に勤める深川大さん(25)  
は「普段は自転車通勤し  
ているが、雨の日などに利  
用したい」と話していた。

# 【4. 地域公共交通におけるクロスセクター効果の算出】 P32～33

## (近畿運輸局作成パンフレットより)

### 赤字じゃなかったら何？

例えば、デパートのエレベータを利用するのは無料なので、エレベータの収入はゼロです。でも、建設費も維持費もかかるので、支出はゼロではありません。ところが、誰もエレベータは赤字だとは言いません。なぜでしょう？

もしエレベータが有料だとしたら、みんなデパートに来るでしょうか？

エレベータは、デパートに人が来てくれるために動かしているのです。デパートが黒字になることが目的で、エレベータを動かすことは、そのために必要な支出です。

エレベータのないデパートに人が来ないように、**地域公共交通が不便なまちには人が住まなくなる**のではないのでしょうか？

まちに人が来ないで困っているのだとしたら、エスカレーターやエレベータの経費をデパートの売上でまかなっているように、鉄道・バスの経費を補助することによって、まちを活性化する必要があります。



コミュニティバス等の地域公共交通は、自由にクルマを使うことが出来ない人々（運転することが困難な高齢者、免許を取る事が出来ない高校生、様々な事情でクルマを使うことが出来ない人々）や、クルマを移動手段として選択しない人にとって、日々の生活を行うためには不可欠のものです。

コミュニティバス等の地域公共交通は、「地域の人々の足を支える」ために必要なものであり、そのためには行政・交通事業者・住民がスクラムを組んで維持・改善に取り組むことが必要であり、維持・改善のためには補助が必要です。

つまり、コミュニティバス等の地域公共交通への補助は、「赤字」ではなく「**地域を支えるための支出**」なのです。

### 鉄道・バスが廃止されると？

地域公共交通は、通院や買物などの生活を支えており、廃止されると地域のあり方に影響が懸念されます。

わが国では、多くの交通事業者が不採算な状況におちいりつつあります。しかしながら諸外国でも交通事業は独立採算では成立していません。むしろ単独で交通事業が成立してきたわが国のこれまでが稀有な状況と言えます。

運賃収入では運行費用をまかなえない鉄道やバスは、現在行政からの補助金等の公的負担で維持されていますが、この補助金等の財源確保が困難な状況です。しかし、もし地域公共交通（鉄道・バスなど）が廃止になってしまったら、移動の足がなくなる人たちに医療施設への送迎支援の実施等で、**廃止前よりも行政コストが増加**してしまうかもしれません。



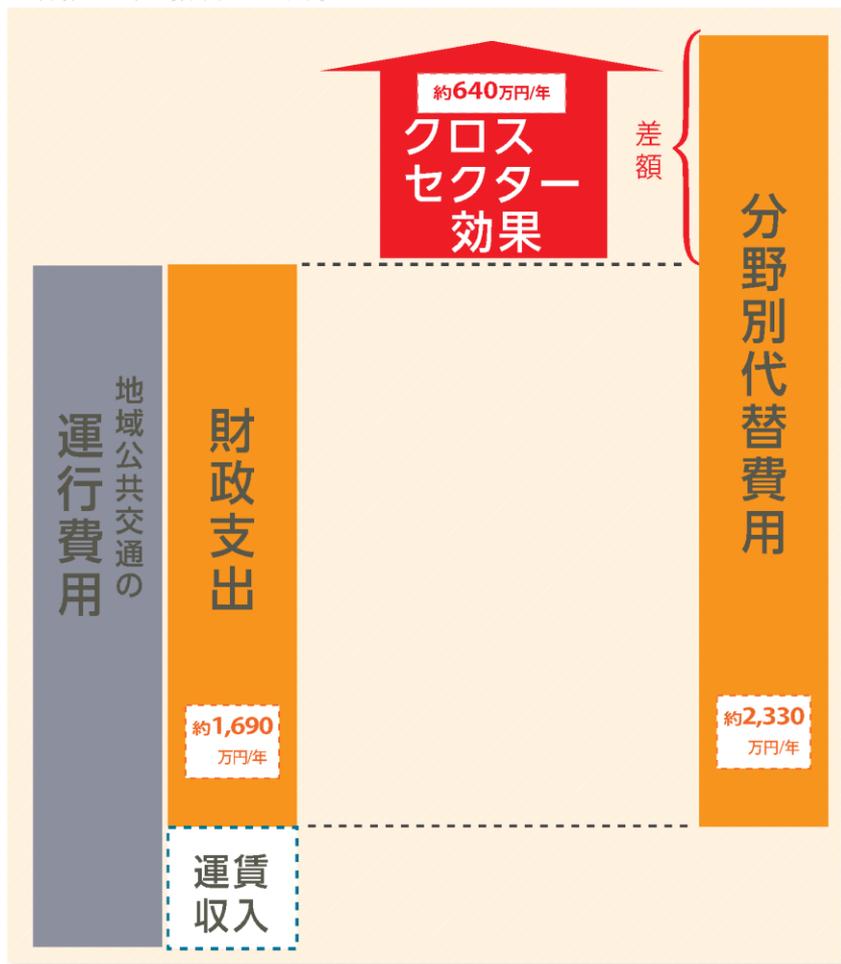
# 兵庫県福崎町におけるコミュニティバスのクロスセクター効果算出事例

兵庫県福崎町を参考にクロスセクター効果を算出してみました。

2017年度（H29）においては、福崎町がコミュニティバス（サルビア号）に支出する費用が年間約1,690万円（実績見込み）であるのに対して、コミュニティバスを廃止した場合の分野別代替費用が年間約2,330万円必要であることから、クロスセクター効果額は年間約640万円と算出されています。

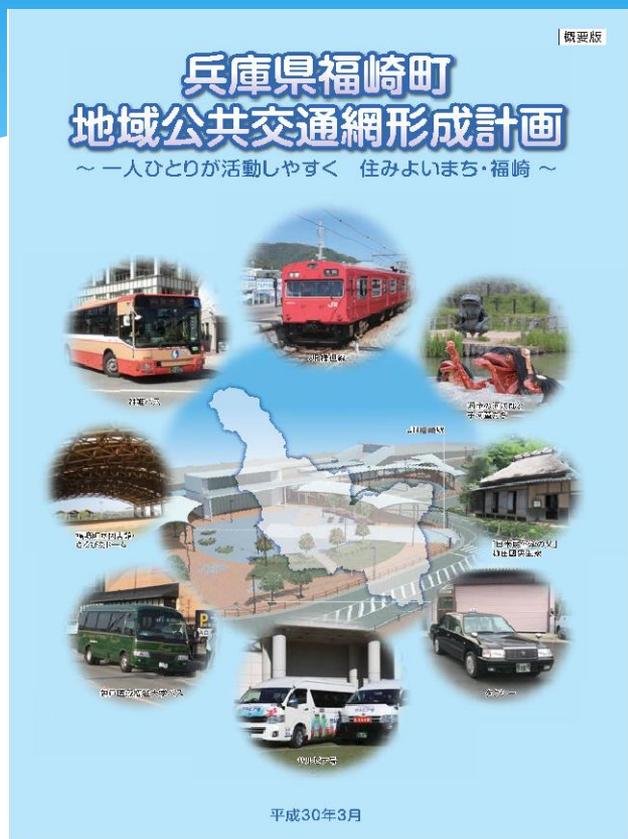
よって、コミュニティバスへの財政支出は「交通分野における単なる赤字補填」ではなく、「地域を支える効果的な支出」と考えることができます。

持続可能な公共交通を目指すためには、交通分野以外の他分野との連携を強化していくことが重要です。



分野	コミバス（サルビア号）が廃止された場合に追加的に必要となる行財政負担項目	費用
医療	病院送迎貸切バスの運行 現在コミバスを利用して通院している人を貸切バスで送迎するとして計上	約1,360万円/年
	通院のためのタクシー券配布 現在コミバスを利用して通院している高齢者（車免許なしの人に限る）を対象にタクシー券を配布するとして計上	→ 約450万円/年
	医師による往診 現在コミバスを利用して通院している高齢者（車免許なしの人に限る）を対象に医師が往診するとして計上	約2,880万円/年
	医療費の増加 コミバス利用者が車での送迎等に転換することにより、バス停まで歩かなくなることで健康が損なわれやすくなることによる医療費の増加分を計上	約30万円/年
商業	買物バスの運行 現在コミバスを利用して買物している人を貸切バスで送迎するとして計上	約1,360万円/年
	買物のためのタクシー券配布 現在コミバスを利用して買物している高齢者（車免許なしの人に限る）を対象にタクシー券を配布するとして計上	→ 約810万円/年
	移動販売実施補助 廃止されるバス停で移動販売を実施するとして計上	約830万円/年
観光	観光地送迎貸切バスの運行 現在コミバスを利用して観光地に行っている人を貸切バスで送迎するとして計上	約1,510万円/年
	観光地送迎のためのタクシー運賃補助 現在コミバスを利用して観光地に行っている人を対象にタクシー券を配布するとして計上	→ 約90万円/年
福祉	タクシー券配布（通院・買物・観光以外の自由目的での利用） 現在コミバスを利用して福祉施設や行政施設等へ行っている高齢者（車免許なしの人に限る）を対象にタクシー券を配布するとして計上	約720万円/年
財政	土地の価値低下等による税収減少 廃止されるバス停周辺の地価が低下することによる税（土地の固定資産税及び都市計画税）減少分を想定して計上	約240万円/年
分野別代替費用		約2,330万円/年 ←

※1）財政支出は2017年度（H29）実績見込み  
分野別代替費用は2017年（H29）サルビア号利用状況や利用者アンケート調査結果を用いて算出  
※2）各分野の費用の合計と総数（分野別代替費用）の約10万円の差は、各々の費用を10万円単位で四捨五入しているためである。



## 【施策周知に対する取り組みについて】

○施策の広報・HPによる周知  
＋公共交通網形成計画概要版全戸配布等

○MM活動＋利用促進チラシ作成  
＋公共交通総合HP作成

### (具体的な取り組み)

①町内全域の自治会協議員への周知



②町内全域の自治会に対し、利用想定者  
に対する説明を実施



③全体時刻表等の配布＋各自治会ごとの  
個別時刻表＋利用方法例の配布



# (各地区時刻表例) → 出発地点と目的地・目的地での滞在時間 そして帰着時間示す

(表)

## 【巡回バス「サルビア号」地区別時刻表】

【長野地区：抜粋】

(郊外便：川西A地区)

運行日：月～土(祝日、振替休日、年末年始除く)

◎田口、坂本新田南、長野、駅前、文化センター、駅前、新町西、図書館、旬彩蔵、新町清水、福崎大橋東、福崎町役場、辻川観光交流センター前、田尻南、吉田東、吉田西、吉田北、デイサービスでは「乗継」できます。  
 ◎川東地区へも乗り継いで行けます。(月、水、金、土曜日のみ)  
 ◎巡回バスの利用例などをHPに掲載しますので、是非ご覧ください。(http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/)

### ★ポイント

★午前便(行き①便→行き②便→行き③便乗り1便)

バス停名	行き①便 出発時間①	行き②便 出発時間②	バス停名	行き③便 出発時間③	バス停名	帰り1便 到着時間1	全体時間
長野(公民館)	7:57発	9:48発	—	—	長野(公民館)	12:30着	1-① 約4.5時間 1-②
長野(山本商店)	7:57発	9:48発	長野(山本商店)	11:49発	長野(山本商店)	12:30着	約3時間

施設名(目的地)	到着時間①	到着時間②	施設名(目的地)	到着時間③	施設名(目的地)	出発時間1	滞在時間
駅前(交通広場)	8:04	9:55	★第1デパート(徒歩) (急行バス停)	11:51	駅前(交通広場)	12:23	①4時間19分 ②2時間28分
文化センター (エルデホール前)	8:09	10:01	★吉田北	11:55	文化センター (エルデホール前)	12:17	①4時間8分 ②2時間16分
駅前 (吉田クリニック西)	8:12	10:04	吉田西 (ラ・ムー前)	11:56	駅前 (吉田クリニック西)	12:13	①4時間1分 ②2時間9分
新町西 (アキタク診療所南)	8:13	10:05	吉田 (ミナミ整形前)	11:57	新町西 (アキタク診療所南)	13:14	①4時間9分 ②2時間17分
■図書館	—	10:07	田尻南 (ライフ前)	11:59	図書館	12:11	① — ②2時間4分
旬彩蔵	8:14	10:09	辻川観光交流センター前	12:02	旬彩蔵	12:09	①3時間55分 ②2時間
新町清水 (JA神穂統括前)	8:15	10:10	福崎町役場 (サルビア会館前)	12:04	新町清水 (JA神穂統括前)	12:08	①3時間53分 ②1時間58分
福崎大橋東 (さとう前)	8:16	10:11	福崎大橋東 (さとう前)	12:07	福崎大橋東 (さとう前)	12:07	①3時間51分 ②1時間56分
福崎町役場 (サルビア会館前)	8:19	10:14	新町清水 (JA神穂統括前)	12:08	福崎町役場 (サルビア会館前)	12:04	①3時間45分 ②1時間50分
辻川観光交流センター前	—	10:16	旬彩蔵	12:09	辻川観光交流センター前	12:02	① — ②1時間46分
田尻南 (ライフ前)	—	10:19	図書館	12:11	田尻南 (ライフ前)	11:59	① — ②1時間40分
吉田東 (ミナミ整形前)	8:22	10:21	新町西 (アキタク診療所南)	12:13	吉田東 (ミナミ整形前)	11:57	①3時間35分 ②1時間36分
吉田西 (ラ・ムー前)	8:23	10:22	駅前 (吉田クリニック西)	12:14	吉田西 (ラ・ムー前)	11:56	①3時間33分 ②1時間34分
★吉田北	8:24	10:23	文化センター (エルデホール前)	12:17	★吉田北	11:55	①3時間31分 ②1時間32分
★第1デパート(徒歩) (急行バス)	8:28	10:27	駅前 (交通広場)	12:23	★第1デパート(徒歩) (急行バス)	11:51	①3時間23分 ②1時間24分

(まちなか便へ「乗り継ぎ」が必要な施設) ※例えば、図書館や田尻南(ライフ前)で乗継

★行：午前便

施設名	乗継方法(行き)	到着時間
文珠荘	①10:38発 ■図書館乗継 (31分乗継待)	10:57着

約4時間滞在

出発時間A	乗継方法(帰)	もう少しゆっくり滞在	出発時間B	乗継方法(帰)
14:50発	①15:10着 ■図書館乗継 (15:40 接続) (30分 乗継待)	(約6時間)	16:50発	①16:57着 ■田尻南乗継 (18:19 接続) (1時間22分 買い物可)

1 / 2



ご予約・お問い合わせは「予約センターまで」

予約センター：0790-24-3400  
(受付時間：8:00~12:45 13:30~17:15)

### ●利用上の注意事項●

- 交通事情等により出発・到着時間が遅れる場合があります。また悪天候により運行できない場合があります。
- サルビア号は車イス対応の車両ではありません。
- 5人以上で利用される場合は、2営業日までに予約センターにお知らせください。
- 他の便に乗り継ぐ場合は「のりつき券」をもちってください。
- 高額紙幣(5,000円、10,000円)はご利用できません。
- ふくひめ館に乗り継ぐ場合は、別途利用料(200円)が必要です。
- 12:45~13:30までは予約センターの休憩時間となります。

●午後便(帰り2便→行き4便→帰り3便)

バス停名	帰り2便 到着時間2	全体時間	行き4便 出発時間④	帰り3便 出発時間③	全体時間
長野(公民館)	15:59着	2-② 約6時間 2-③	16:34発	18:52着	3-①③ 約7時間 3-②
長野(山本商店)	15:59着	約4時間	16:34発	18:52着	約2.5時間

施設名(目的地)	出発時間2	滞在時間	到着時間④	出発時間③	滞在時間
駅前(交通広場)	15:52	②5時間57分 ③3時間36分	16:41	※18:31発	③6時間8分 ④1時間50分
文化センター (エルデホール前)	15:46	②5時間45分 ③3時間29分	16:47	18:33	③6時間16分 ④1時間46分
駅前 (吉田クリニック西)	15:43	②5時間39分 ③3時間29分	16:50	18:31	③6時間17分 ④1時間41分
新町西 (アキタク診療所南)	15:42	②5時間46分 ③3時間29分	16:51	18:30	③6時間17分 ④1時間39分
■図書館	15:40	②5時間33分 ③3時間29分	16:53	—	※17:10発 まちなか便
旬彩蔵	15:38	②5時間29分 ③3時間29分	16:55	—	※17:08発 まちなか便
新町清水 (JA神穂統括前)	15:37	②5時間27分 ③3時間28分	16:56	18:28	③6時間20分 ④1時間32分
福崎大橋東 (さとう前)	15:36	②5時間25分 ③3時間29分	16:57	18:27	③6時間20分 ④1時間30分
福崎町役場 (サルビア会館前)	15:33	②5時間19分 ③3時間29分	17:00	18:24	③6時間20分 ④1時間24分
辻川観光交流センター前	15:31	②5時間15分 ③3時間29分	17:02	18:22	③6時間20分 ④1時間20分
■田尻南 (ライフ前)	15:28	②5時間9分 ③3時間29分	17:05	18:19	③6時間20分 ④1時間14分
吉田東 (ミナミ整形前)	15:26	②5時間5分 ③3時間29分	17:07	18:17	③6時間20分 ④1時間12分
吉田西 (ラ・ムー前)	15:25	②5時間3分 ③3時間29分	17:08	18:16	③6時間20分 ④1時間8分

★行き③便目と帰り1便目は同じ便です。行きの回数が1回増えます。

# 利用方法の例（図書館の利用）

福崎町役場前  
9時頃



所要時間約10分

まちなか便

1時間滞在



福崎町役場前  
10時半頃



所要時間約10分

まちなか便

合計  
約1時間半

## 【利用方法例提示の考え方】

①行ける場所を具体的に示す。

②行き方・帰り方を示す。  
※乗り遅れた場合のフォロー

③滞在可能時間を示す。

④全体時間を示す。

★パターン化したものにより、利用者の不安を無くし、外出意欲を喚起する。

1時間を超える場合

1時間半滞在



福崎町役場前  
11時頃



所要時間約10分

サルビア号  
(まちなか便)

合計  
約2時間

1時間半を超える場合

2時間強滞在



福崎町役場前  
11時半頃



所要時間約10分

まちなか便

合計  
約2時間半



## 【6. 担当としての想い】

### \* 公共交通施策の策定や実施に際して

- ①自分が利用者だったら、公共交通がどうなったら嬉しいか？
- ②思いついたことは、とりあえず言葉に出してみても、出来る可能性があるかどうかを相談してみよう。
- ③利便性向上と利用促進策は同時に継続的に行う。
- ④行政だけでなく、地域や企業も含めてみんなで育てていけるような公共交通にしていきたい。



\*ご清聴ありがとうございました。